

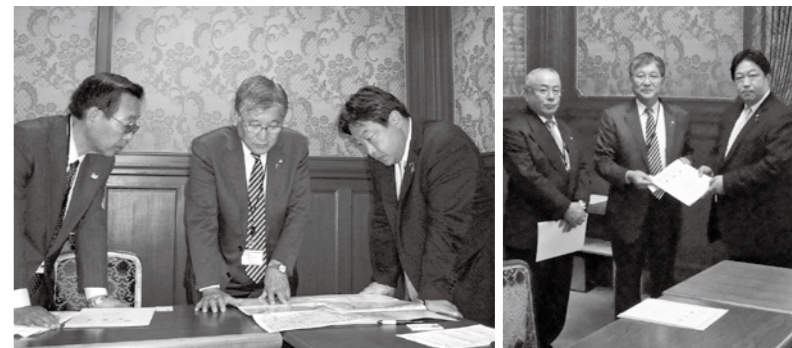
首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝間)の早期完成に向けて

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、東京湾アクアラインや東関東自動車道などと一体となって千葉県の広域的ネットワークの骨格を形成し、半島性の解消や成田国際空港、幕張新都心、かずさアカデミアパークを軸とした各種プロジェクトの波及効果を県内各地にもたらす上で、欠くことのできない道路です。

多古町周辺の県北総地域は、これまで国際物流拠点である成田国際空港を中心に、さまざまな空港関連産業が集積し発展してきました。今年3月には、空港の年間発着回数が20万回から22万回に増加しましたが、10月には、さらに30万回に拡大されることが、国・県・関係市町・空港会社(NAA)による四者協議会において合意されるなど、今後、空港利用者や航空貨物取扱量の飛躍的な増加が予想されます。

これにより、空港へのアクセス道路の要となる圏央道の早期整備が急務となりますが、多古町が空港との共生・共栄を図りながら発展していく上で極めて重要な区間となる「大栄～横芝間」については、平成20年度から現地調査が開始され、現在は(仮称)多古インターチェンジの設置を含めた道路の設計が進められているものの、開通時期が明確に示されていない状況です。

町では、この「大栄～横芝間」の整備を空港周辺地域の更なる発展を目指す上で重要なインフラ整備と位置付け、本区間の早期完成に向けて、引き続き県や周辺市町とも連携しながら、国や関係機関への働きかけや要望活動等に積極的に取り組んでいきます。



■衆議院本館で国への要望活動を行う菅澤町長



『これってホクロ? それともがん?』

文/国保多古中央病院 内科・皮膚科 山本洋輔

「足の裏のホクロは、がんになる」。このようなことを言われたことはありますか?最近テレビなどでも特集されることありますが、放送された翌日の外来は、心配になった患者さんであふれます。

大半はホクロや良性腫瘍なのですが、まれにがんの場合もあります。そこで今回は、皮膚がんの目安をお教えしようと思ひます。医師が見て、がんかどうかを疑うポイントは次の5つです。

- ①左右非対称の形(円でも楕円でもない)
- ②境界が不明確(腫瘍と正常の皮膚の境目がはっきりしない)
- ③さまざまな色をしてい(黒・灰色・赤などの部分がある)
- ④直径が6mm以上(鉛筆の直径が7mm程度です)
- ⑤盛り上がっている



「病院便り」
多古中央病院の受付時間は、午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けていますが、設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際には、お薬手帳など投薬内容が確認できるものを持参してください。

もちろんこれらのポイントはあくまで目安なので、全部当てはまっても、がんでないこともありますし、一つも当てはまらなくても、がんという場合もあります。実際にこれらがいくつか当てはまり、病院に掛かる場合にも注意することがあります。まずは、いつごろから



追跡レポート! ———— この職業・この人たちの24時間



安全確保に努め、日々研究に取り組みます
三菱化学メディエンス(株)
成田研究所の一日
紹介者: 島津光伸さん

三菱化学メディエンス(株)では、診断検査・創薬支援・研究開発の3分野を中心に事業を展開しています。その中で本成田研究所は、診断薬などの研究開発を5つのグループに分かれて行っています。

勤務時間は午前9時から午後5時35分。48人の研究員は、ほとんどの時間を研究に費やしています。研究は、思考と実験の繰り返し。机に座っているのは、出勤時と昼食の時間くらい。求めている結果を出すため、ち密な作業をし、結果が値しなければ再度手を加え、新たな結果を出すという研究の繰り返しです。

研究所内には、約9,000冊の書籍が置かれている図書室があります。研究の合間に必要なノウハウを確認し、新

たな事業の創出を図ります。現在は、インターネットでも検索できますが、ネット上に掲載されていないものもあるので、専門的な書籍は必要不可欠となります。



本研究所で研究開発した製品で身近なものとしては、医療機関で使われるインフルエンザウイルスの感染を診断する試薬や、スギ・ダニ・ネコや小麦・牛乳・卵白などのアレルギーを診断する試薬です。

また、化学物質などを取り扱う関係上、安全確保に対しても万全を期しています。正確に作業を進めることで安全に研究開発を行い、正しい結果や求める結果を出すため、日々研究に取り組むことができます。同時に、従業員が安心して働くことができる、より良い職場づくりにもつながります。

これからも明日を見据えた研究開発を行い、健康づくりへの新たな製品やサービスの提供を目指していきます。



取材協力: 多古工業団地連絡協議会 三菱化学メディエンス(株)成田研究所

お問い合わせ ● 都市整備課建設係
☎ 76-5407

俳句

文芸コーナー

銀杏散る古刹に禿びし竹箒
水戸 鈴木やすし

銀杏散る登る石段息切らし
切通 勝又 窓秋

銀杏散る神のひかりを撒くように
仲町 香取 省吾

抑留の僻地に拝む流れ星
南中 飯田久よし

新蕎麦や夫婦に同じ時流る
北中 木内 慶子

銀杏散るわが古里につづく道
高根 平山富士子

行く秋や待合室に聞く弱音
喜多 瓜生 恒子

短歌

夕光げに葉を閉ず合歓に風立ちて老いのようにやく一日凌げる
次浦 高橋 啓枝

ひなげしの花びらのやうな幼子の笑ひ声する夢に覚めたり
間倉 伊橋かほる

陶芸を学びたる子の創りたる茶碗に今朝は新米を盛る
島 星野 みつ

衰えしこの身を誰に告げならむ庭草引けば土に咽たり
高野前 鈴木沙和子

生き甲斐に軒のサボテン手入れする初冬の光り背に受けながら
南並木 飯田ふみ子

台風の過ぎたる庭の清清と見え隠れつつ黄の蝶の飛ぶ
南玉造 秋山 絢子

緑濃くさわさわ育つ青田なり水見廻りに足まめに行く
水戸 平山 ヒロ